

みんなの力で「福島を元気に」

東日本大震災から14年余りが経過しました。この間、県の建築分野における様々な復旧・復興に向けた業績が認められ、2021年日本建築学会賞を受賞しました。これを励みに引き続き、復興の推進とその先の県土の発展に向けた様々な施策を展開してまいります。

近年の建築・住宅行政を取り巻く課題としては、人口減少社会に対応した住宅セーフティネット機能の充実、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた省エネ・再エネの導入や木造化・木質化の促進、頻発化・激甚化する自然災害に備えた既存建築物の耐震対策等、より豊かな地域社会の形成を見据えた景観やユニバーサルデザインへの配慮、生産性の向上や働き方改革を踏まえたBIMをはじめとした建設DXの推進など、私たち建築関係の技術職に対する社会的要請はますます高まっており、困難な課題や新たな取組にも柔軟な思考で積極果敢に挑戦してまいります。

まちづくりの分野では、過疎中山間地域における定住人口の維持、県内への移住の促進や観光等による交流・関係人口の増大、新婚・子育て世帯の居住の安定確保等を目指し、街並み景観の保全・向上や空き家の利活用を促進する事業を展開しております。

また、市町村における都市のマスタープランに添った安全で魅力的、かつコンパクトなまちづくりを支援してまいります。

このような中で、私たちと一緒に県民が故郷に誇りと愛着を持ち、豊かさや幸せを実感することができる住環境や持続可能なまちづくり、地域に根差した魅力ある公共建築整備に携わってみませんか？

民間企業では経験し難い広大なフィールドが皆様を待っています！！

福島県土木部次長（建築担当）星 剛